

教科：（商業） 科目：課題研究（ビジネス計算探求） 単位数：（３単位） 対象：（第３学年Ａ組～Ｅ組）
教科担当：（山田康平）
使用教科書： 学校設定科目

売買取引、代金決済など、取引とビジネス計算に関する知識、技術などを基盤として、実務における取引とビジネス計算の方法など科学的な根拠に基づいて、契約の締結と履行について探求を行う。

【知識・技能】：知	【思考・判断・表現】：思	【主体的に学習に取り組む態度】：主
取引とビジネス計算について実務に即して理解するとともに、関連する技術が身についている。	取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考案することができる。	取引とビジネス計算について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組むことができる。

	単元項目	学習内容	評価規準	評価の観点			配当 時数
				知	思	主	
1 学期	・売買取引と代金決済	・売買契約の締結と履行の流れ及び通貨、小切手、手形、クレジットカードなど代金決済の手段とその仕組みについて探求する。また、情報技術を活用するなどした新たな代金決済の手段とその仕組みについて探求する。	・売買取引と代金決済について理解している。 ・売買取引と代金決済について、科学的な根拠に基づいて課題へ取り組むことができる。 ・売買取引と代金決済について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	40
	・ビジネス計算の方法	・商品に関する代価の計算、割引きと割り増しの計算、売買に必要な度量衡、利益率の計算、仕入れ原価と売価の計算、複利と単利の計算、積立金の計算、外国貨幣の計算と換算、株式の評価、債券の利回り等について探求を行う。	・ビジネス計算の方法について理解している。 ・ビジネス計算の方法について、科学的な根拠に基づいて課題へ取り組むことができる。 ・ビジネス計算の方法について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	40
3 学期	・研究発表	・ビジネス計算に関する探求についてまとめ、発表活動をおこなう。	・ビジネス計算について探求した内容をまとめることができ、発表技術が身についている。 ・ビジネス計算について、科学的な根拠に基づいた課題解決が提案できる。 ・発表活動について、主体的かつ協働的に取り組むことができる。	○	○	○	25
合計							105